◆2023年8月の新刊　日本キリスト教団出版局

人を育むみことば

教育のモデルとしての旧約聖書

W.ブルッゲマン 著　1933年アメリカ合衆国ネブラスカ州生まれ。1961年ユニオン神学校からTh.D.（神学博士号）を授与。1986年から2003年まではコロンビア神学校で教鞭を取り、ウィリアム・マーセラス・マクフィーターズ（旧約聖書名誉教授）となった。現在はミシガン州トラバースシティに在住。著作は100冊を超えており、過去数十年で最も影響力のある旧約学者の一人と目されている。

宮本あかり（みやもと） 訳　1988年、東京女子大学文理学部哲学科卒業。1993年、同大学院文学研究科修了（文学修士、専攻：新約思想）。現在、学習塾講師。

2023年
8月25日
刊行予定

私たちは聖書からキリスト教教育をどのように語ることができるのか。その問いに対して著者は、旧約聖書の正典化のプロセスこそがその大きなヒントになる、と述べる。北米を代表する旧約聖書学者が、新たな視点からキリスト教教育を聖書から解き明かす一冊。

A5判・並製・248頁・定価3,960円（本体3,600円＋税）

ISBN978-4-8184-1140-1　C1016

目次

第一章　正典とその教育的内容
第二章　結びつきの発見
　イスラエルの知の中心的なあり方としての物語
第三章　正義のための破壊
　新たな啓示と詩的な理性
　可能性を超えた終わりと始まり
第四章　秩序の識別
　忍耐強い観察、予期される不確実性
　聖なる相互の結びつき
第五章　知のあり方としての従順
　詩編における「汝」
　神の近さの経験としての従順